＜学年・学級別児童＞

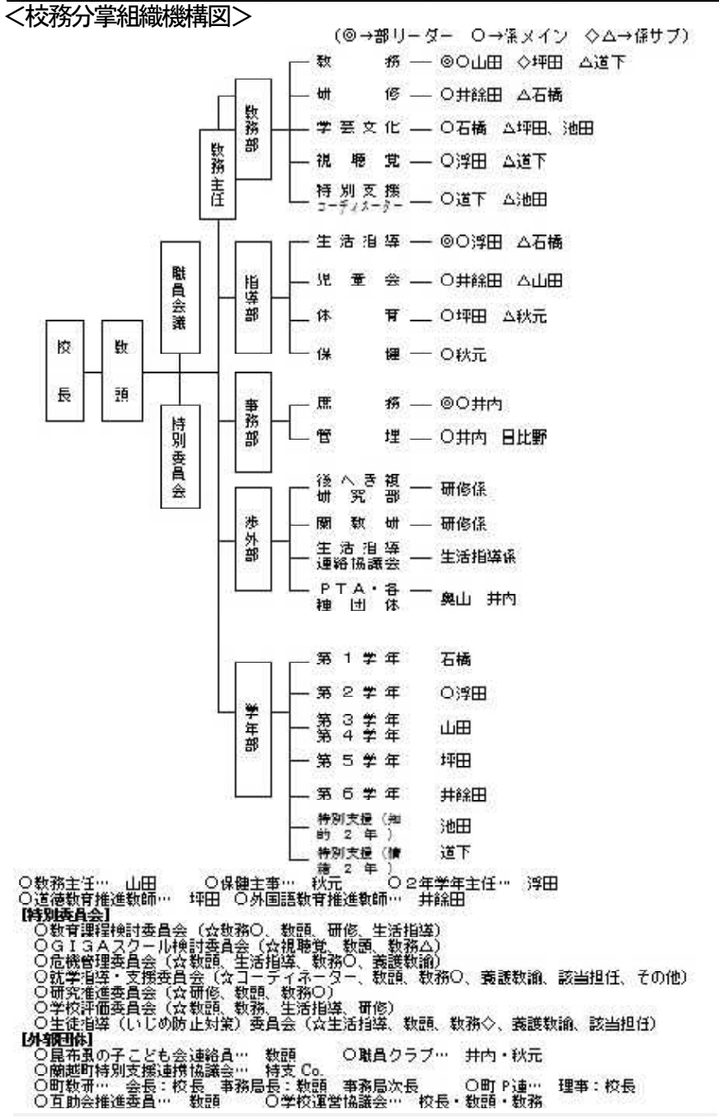
6月２３日現在

	１年	２年	こぶし２知 １組	こぶし２情 ２組	３年	４年	５年	６年	合計
男子	0	9	0	0	2	5	2	2	20
女子	2	5	1	1	5	3	7	6	30
合計	2	14	1	1	7	8	9	8	50
学級	1	1	1	1	1		1	1	7

＜職員構成＞

職名	氏　　名	学級担任	校務分掌
校　　長	西谷　暢幸		
教　　頭	奥山　文康		渉外
教　　諭	石橋　有希	１年	学芸文化・研修・生活指導
教　　諭	浮田　悠希	２年	生活指導・視聴覚
教　　諭	池田早智子	こぶし1 2年	学芸文化・特別支援
教　　諭	道下　南奈	こぶし2 2年	特別支援・教務・視聴覚
教　　諭	山田　　恵	３・４年	教務・児童会
教　　諭	坪田　航輝	５年	体育・教務
教　　諭	井餘田美里	６年	研修・児童会
養護教諭	秋元　直子		保健
事務職員	井内　　隆		事務
学習支援員	大山　　睦		
公務補	日比野真紀		管理

＜校務分掌組織機構図＞



○教務主任…　山田　　○保健主事…　秋元　　○２年学年主任…　浮田
○道徳教育推進教師…　坪田　○外国語教育推進教師…　井餘田

【特別委員会】
○教育課程検討委員会（☆教務○、教頭、研修、生活指導）
○ＧＩＧＡスクール検討委員会（☆視聴覚、教頭、教務△）
○危機管理委員会（☆教頭、生活指導、教務○、養護教諭）
○就学指導・支援委員会（☆コーディネーター、教頭、教務○、養護教諭、該当担任、その他）
○研究推進委員会（☆研修、教頭、教務○）
○学校評価委員会（☆教頭、教務、生活指導、研修）
○生徒指導（いじめ防止対策）委員会（☆生活指導、教頭、教務◇、養護教諭、該当担任）

【外部団体】
○昆布乳の子こども会連絡員…　教頭　　○職員クラブ…　井内・秋元
○蘭越町特別支援連携協議会…　特支 Co.
○町教研…　会長：校長　事務局長：教頭　事務局次長　　○町Ｐ連…　理事：校長
○互助会推進委員…　教頭　　○学校運営協議会…　校長・教頭・教務

＜　本　校　沿　革　概　要　＞

昆布町教育の始まり～昆布小学校沿革史　第一章「創立事情」より～

明治３３年頃より漸く磯谷郡磯谷村から数戸移転するものあり。３５年にいたり現昆布市街地並びに字フトロコタン、字湯山別方面の部落を合わせて１５、６戸の来住者あり。学齢児童約２０名を算するもようになるも就学する途もなく、父兄何れも当惑し、学校の必要を感じ、何とかよい方法を講じなければ、折角の来住者も他に転居しなければならない趨勢を看過することも出来ず、昆布有志斎藤秀三郎、北川友吉両氏、学校設置の必要性を高唱し、時の戸長伊藤義道氏の尽力により、３６年４月､昆布市街地山部恒雄氏より昆布番外地に於いて建物１２坪の寄附を受け、石道亀司氏に依頼して仮教育所を開設した。石道氏は無報酬で１年５ケ月間親切、熱心に教導され、此間、有志は同氏に同情し、米、味噌、薪、炭等を贈り、困難の内に漸く経営してきたものである。その後、機漸く熟し、明治３７年９月１日、昆布簡易教育所として設置認可を受け、前記校舎を昆布畑６番地に移転し、石道亀司氏正式に教育所教員に任命せられた。右本校開校のはじまりである。

明　治	36	年	4月	仮教育所を開設	1学級　49人
	37	年	9月	昆布簡易教育所を開設	1学級　49人
	41	年	1月	新校舎落成	2学級　131人
			2月	第五南尻別尋常小学校と改称	
大　正	5	年	7月	昆布尋常小学校と改称	3学級　214人
	11	年	4月	昆布尋常高等小学校と改称（高等科併設される）	5学級　334人
昭　和	9	年	7月	校章制定	5学級　306人
	11	年	7月	新校舎落成、及び、開校３０周年記念式典挙行	5学級　284人
	16	年	4月	昆布国民学校と改称	6学級　228人
	22	年	4月	南尻別村立昆布小学校と改称	6学級　291人
	25	年	１０月	虻田郡狩太村・磯谷郡南尻別村　学校組合立昆布小学校と改称	6学級　328人
	29	年	9月	開校５０周年記念式典挙行、校歌制定	
	33	年	１２月	体育館落成	9学級　355人
	39	年	１０月	開校６０周年記念式典挙行	9学級　291人
	49	年	9月	開校７０周年記念式典挙行	6学級　116人
	51	年	4月	蘭越町立昆布小学校と改称	6学級　84人
	54	年	１１月	鉄筋２階建て新築校舎落成	6学級　84人
	55	年	4月	立川小学校統合	6学級　87人
	59	年	9月	開校８０周年記念式典挙行	6学級　78人
平　成	元	年	8月	南部あき子氏よりピアノ・図書基金寄贈	5学級　68人
	6	年	8月	開校９０周年記念式典挙行・昆布渓流太鼓誕生	5学級　59人
	7	年	4月	障害児（こぶし）学級設置	6学級　54人
	8	年	１１月	蘭越町へき地複式教育連盟研究大会	6学級　50人
	9	年	4月	複式２学級	5学級　44人
	11	年	4月	複式１学級	6学級　51人
	14	年	4月	湯里小学校統合	6学級　52人
	16	年	8月	開校１００周年記念式典・祝賀会挙行	5学級　44人
			１０月	第５４回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会	
	17	年	9月	第５４回全道へき地複式教育研究大会後志大会	5学級　42人
	19	年	4月	こぶし（特別支援）学級2学級	6学級　43人
	20	年	4月	放課後子ども教室開始	5学級　43人
	21	年	4月	学校評議員制度開始	5学級　45人
	22	年	4月	完全複式学級	4学級　38人
			１１月	後志へき地複式教育実践交流会兼蘭越町へき地複式教育研究大会	
	23	年	7月	移動理科教室実施	5学級　43人
	24	年	5月	校舎大規模改修一期工事	4学級　39人
	25	年	5月	校舎大規模改修二期工事	4学級　39人
	26	年	11月	昆布小学校開校110周年記念公開研究会	4学級　37人
	29	年	9月	第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会プレ大会	4学級　36人
	30	年	9月	第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会	5学級　32人
令　和	3	年	11月	後志へき地複式教育研究大会	5学級　41人
	6	年	6月	各教室エアコン設置	6学級　55人
			9月	開校１２０周年	
	7	年	4月	複式１学級	7学級　50人

令和７年度

学　校　要　覧

校　歌

作詞・作曲　坂本黒潮

一、遙かに望む　蝦夷の富士
名だたるニセコを窓に見る
自然の恵み　豊にて
我が学び舎は楽しけれ

二、いで湯豊かな　観光地
尻別川の流れにも
拓きし人を　偲びつつ
我が学び舎にいそしまん

三、進む文化に　手をとりて
心とからだを鍛えつつ
正しく強く　意気高く
我が学び舎にいそしまん

四、築く平和の　我が郷土
学ぶ我等の行く道に
久遠の光　栄えあれ
いざや進まんもろともに

蘭越町立昆布小学校

〒048-1302　磯谷郡蘭越町昆布町210番地
Tel（0136）58-2240　Fax（0136）55-5207
E-mail: konbushou-school@chime.ocn.ne.jp

学校教育目標

たくましく
- 学び合い　（知）
- ひびき合い（情）
- みがき合い（意・体）

めざす学校像

◎愛情と信頼に基づく明るく楽しい学校

○子どもたちにとって　安全・安心で魅力のある学校
○教師にとって　力の発揮できる学校
○地域・保護者にとって　信頼できる学校
○教育環境が整備され　うるおいのある学校

めざす子ども像

◎自ら学び、自ら考える力と実践力を身に付け、心豊かにたくましく生きる子ども

○意欲をもって学ぶ子
・正しい知識を身に付け、自ら学び取る自主的・創造的な生活を進めることができる子
○思いやりのある子
・豊かな心をもち、相手の立場を大切にした温かい心で生活を進めることができる子
○明るく健康な子
・健康で安全な生活に深い関心をもち、その実現に積極的に努力することができる子

めざす教師像

◎情熱と使命感、高い専門的知識、豊かな人間性をもつ教師

○子どもとともによく学び、よく遊び、ふれあいを大切にする教師
○自分の仕事に自信と責任をもち、明るい職場づくりを心がける教師
○進んで研修し、互いに切磋琢磨しあう教師
○地域・保護者から信頼される教師

【本年度の重点目標】

『自分ら気づき　考え　伝え合い高め合う子どもの育成』

本校においては、自然の豊かさ、魅力ある地域の人材・素材を生かした教育活動を推進するとともに、異学年交流等を取り入れながら、認め・つなぎ・広げる学びを深め、さらにその過程に、見通しと振り返りを重視した個人思考と集団思考を位置づけた「へき地・小規模・複式」の特性を生かした教育を進めることが重要である。

その上で本校では，「身につき、かつ楽しい学び」への転換を進めるとともに、その学びは、子ども自身の生活を支えるものであり、実際に今後の生活に生かされていることを実感できるようにすることが大事である。

その「学び」は、「課題を自力解決する力」「違いを受け入れる力」「比較・検討してよりよい方法を生み出す力」を基礎とし、「自分の考えを持つこと（思考力、判断力）」「表現すること（言語活動による表現力）」により、他者と理解を深めることにつながり、協働的な学びを培うことができる。これらの力を身に付けた子どもの姿をめざして本年度の重点目標を設定する。

研　究　主　題

「主体的に学び　共に高め合う子どもの育成」

～基礎基本を大切にし、系統立てた学習を積み重ねることを通して～

【筋道を立てて考える】
論理的な思考を身に付させるためには、スタートからゴールまでの家庭を意識し、創造することが必要である。物事を順序立てて考えることで、結果や結論から、「なぜならば」という理由をつけて説明することができる。また、その結果や結論から新たな課題を見つけ、その課題を解決していくということが自ら学ぶ力となる。「論理的な思考」を身に付けることで、物事の何が問題なのか、どんな解決策があるのかという場面で、様々な観点から答えを導き出すことができるようになるであろう。

【自分の言葉で伝え合い】
子どもたちが「論理的な思考」をもち、考えることができるようになれば、説得力をもった説明ができるようになる。児童一人ひとりが「論理的な思考」を身に付けることでより深いコミュニケーションがとれるようになる。相手を知り、相手に知ってもらえることで、互いに成長し合える関係が生まれるであろう。友とつながり、先生とつながり、地域、社会とつながり、広い視野を持つ子どもたちを育成していきたい。

【資質・能力の具現化と深く学び合う授業の創造】
学習指導要領に提示されている、「生きて働く知識・技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性の涵養」の３つの柱の育成を目指す。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向け、全ての子どもたちが基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成するために、「指導の個別化」を意識して授業を想像していくための研修を行っていく。

≪４月　入学式≫

≪５月　交通安全教室≫

≪５月　遠足≫

≪６月　運動会≫

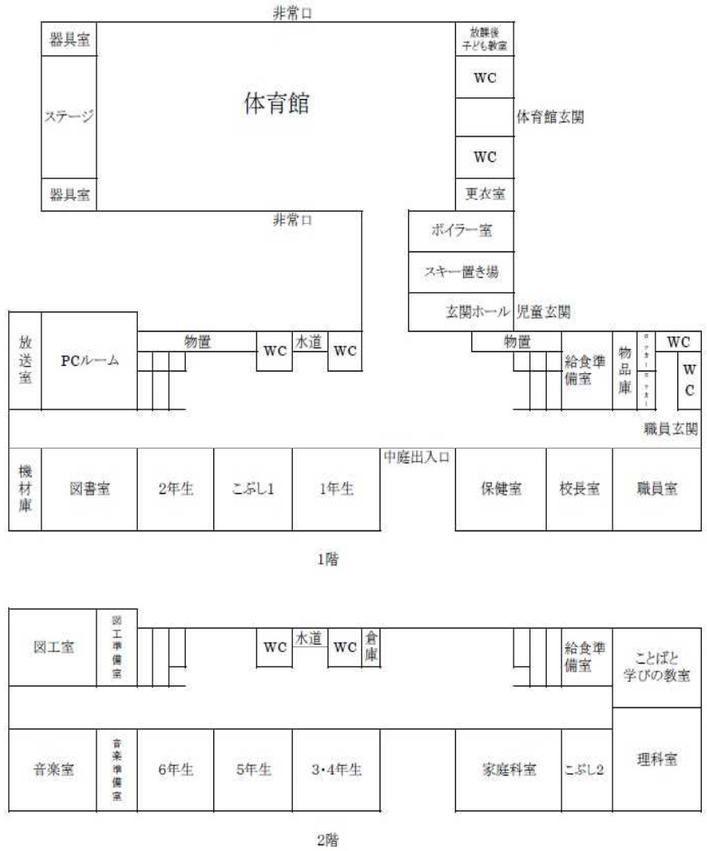
≪９月　マラソン記録会≫

≪１０月　学芸会≫

【昆布小の１年】

４月　入学式・１年生を迎える会
５月　遠足・クリーン作戦・運動会
６月　宿泊研修
７月　水泳学習
９月　修学旅行・校内マラソン記録会
１０月　学芸会
１月　校内書き初め会・クロカン練習
２月　スキー学習
３月　６年生を送る会・卒業証書授与式

≪みんなの本棚…花一会≫

≪縦割り班活動～花壇の苗植え≫

【校舎平面図】